

駆動鎮圧ローラ

不耕起V溝直播を行う場合、冬季代掻ができない圃場では、耕うんの後に駆動鎮圧ローラで田面を硬くしめることができます。



■主な仕様

名 称	駆動鎮圧ローラ
型 式	MDR200
全幅(mm)	2180
全長(mm)	930
全高(mm)	990
重量(kg)	460
ローラ直径(mm)	350
作業能率	16分/10アール
ヒッチ	4S



作 業 状 況

■作業方法及び特徴

1. ローラを強制回転させることにより土を硬く締めることができます。
2. 耕うんした後、早く鎮圧作業をしてください。土壤水分は17%位のときが良好です。土が乾燥すると鎮圧しても土が締まりません。
3. トラクタPTO回転数は通常、標準回転数540r.p.mでご使用ください。
4. 作業速度は毎秒0.75m(毎時2.7km)程度とし速すぎると十分に土を締めることができません。
5. ほ場の残さが多いと耕うん鎮圧しても土が締まりません。したがって稲収穫後、なるべく早く耕うんしてひこばえの伸長や雑草の発生を防止してください。
6. 耕うん後、転換畑用溝あけ機でほ場周囲に溝あけしてから鎮圧ローラをかけるとほ場排水が良好になります。
7. 鎮圧作業の時期は暖地では2月頃、寒冷地では積雪前に実施するようにしてください。

※仕様及び構造は予告なく変更することがあります。

鋤柄農機株式会社

〒444-0943 愛知県岡崎市矢作町字西林寺 38
 TEL (0564) 31-2107 (代)
 FAX (0564) 33-1171